



2013年12月25日

遺伝子組換えカイコを用いて生産されるヒト型タンパク質の 医薬品応用に関する共同研究契約締結のお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京都、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）と株式会社免疫生物研究所（本社：群馬県、社長：清藤 勉、以下「IBL」）は、遺伝子組換えカイコを用いて生産されるヒト型タンパク質の医薬品への応用に関する共同研究契約を締結しましたので、お知らせします。

本共同研究において、アステラス製薬と IBL は、遺伝子組換えカイコを用いて生産される有用なタンパク質について、製造方法の検討や評価、医薬品としての開発可能性の検討等の研究開発を共同で実施します。なお、共同研究の評価結果を踏まえ、医薬品用途での契約について協議を行う予定です。

IBL は、遺伝子組換えカイコの繭に可溶性のタンパク質を効率的に分泌させる生産系を開発し、抗体やヒト・コラーゲンを含む様々な有用タンパク質の生産に成功しています。現在、これらのタンパク質を原料とした研究用試薬、体外診断用医薬品、化粧品、および動物用医薬品の製品化を積極的に進めています。

本提携は、アステラス製薬が推進する外部資源の更なる活用、および新基盤技術への取り組みの具現化です。

本共同研究により、IBL が保有する遺伝子組換えカイコから複雑な構造を有するタンパク質を安定的かつ大量に生産するという技術が、新たなタンパク医薬品の製造技術として確立され、医薬品開発の道を拓くことを期待しています。

以上

お問い合わせ先	
株式会社免疫生物研究所 TEL:0274-22-2889 (代表) HP: http://www.ibl-japan.co.jp/	アステラス製薬株式会社 広報部 TEL:03-3244-3201 HP: http://www.astellas.com/jp/